

広報委員会（第25期第7回）、国内外情報発信強化分科会（同第3回）合同会議
議 事 要 旨

1. 日 時 令和5年3月20日（月）16:30～18:00
2. 場 所 日本学術会議大会議室（オンライン併用）
3. 出席者

【広報委員会】

菱田委員長、狩野幹事、（以下ビデオ出席）松下副委員長、所幹事、池邊委員、磯委員、大倉委員、伊藤委員、三成委員

【国内外情報発信強化分科会】

狩野委員長、北川委員、（以下ビデオ出席）岸村副委員長、神田委員、三枝委員、日比谷委員

※下線の出席者は兼任のため重複

森 日本学術会議アドバイザー

4. 配布資料

資料1 日本学術会議における主な改革の取組状況

資料2 声明『内閣府「日本学術会議の在り方についての方針」（令和4年12月6日）について再考を求めます』について

資料3 内閣府『日本学術会議の在り方についての方針』に関する懸念事項

資料4 2月16日第338回幹事会における内閣府からの「検討状況」説明についての懸念事項

資料5 第25期における広報活動について

資料6 学術会議ホームページの改修について

資料7 第25期における情報関係の体制強化について

資料8 <総合科学誌『学術の動向』の季刊化のお知らせ>について

資料9 IAP Communications, Education, and Outreach Committee Meeting

5. 議 事

(1) 資料1に基づき、菱田委員長より日本学術会議における主な改革の取組状況について説明があった。

(2) 資料5～6に基づき、菱田委員長及び事務局より今期における広報活動について説明があった。また、学術会議のHPに係る対応報告の中で、学術会議の在り方に対するこれまでの対応状況について説明があった（資料2～4関係）。

(3) 資料7に基づき、菱田委員長及び事務局より今期における学術会議の情報関係の体制強化について説明があった。

(4) 資料8に基づき、「学術の動向」分科会委員長である所幹事より、令和5年4月からの「学術の動向」の季刊化等のリニューアルについて説明があった。

(5) 資料9に基づき、日比谷委員より学術会議が加盟する国際学術団体のIAPに関し、新たに設置されたコミッティ（コミュニケーション・教育・アウトリーチ（Communication, Education and Outreach）に関する委員会）について説明があった。

(6) 意見交換等

(主な意見)

- 貸し出し用の Zoom ウェビナーについて、現状 1 件のみであるが、複数アカウントが必要ではないか。
- 事務局職員に対する ICT や情報セキュリティに関する研修やマニュアルの作成が必要ではないか。
- 学術会議主催のシンポジウム等について内向きである指摘もあるので、タイトルや内容、登壇者の肩書の記載方法等について工夫する必要があるのではないか。
- 公開シンポジウムの開催に当たって事務局からの技術的なサポートが欲しい。
- 若手アカデミーでは今期、農水省 YouTube とコラボした対談や、NHK と協力して新たなコンテンツ作りなどをした。メディアなどを巻き込みつつ学術会議の存在を広げていければよいと考える。